

世代間交流による緑化と季節の花のまちづくり

かぶと商店街振興組合(小松市)



本商店街では、面する道路の無電柱化事業以降、個々の植栽はあったものの、組合全体での緑化は中断されたままであった。「花がきれいでも、樹脂性で色もバラバラのプランターでは味気ない」という意見も寄せられた。



そこで、商店街緑化の再出発として、統一プランターによる植栽を企画。間伐材に焼き色をつけたプランターを試作・発注。試験運用。内側に樹脂プランタ





ーを入れる2重構造にすることにより、景観を損なわずに季節ごとに植物を入れ替えるという本事業に取り組むこととなった。



道路に面している店舗や宅地の前に、間伐材を活用して製作したオリジナルプランターを設置。季節ごとの花を楽しめる「通り・空間」を演出したまちづくりを行なった。





コンポストを設置し、落ち葉や生ごみから「安全・安心」の土・肥料作りを行い、実のなる植物を栽培する「循環型植栽」をテーマに、隣接する町内会・敬老会・婦人会・子ども会が連携し、地域の専門家指導のもと楽しみながら知識を蓄え実践する「街の先生活動」により、緑化が広まる講習・活動を行なった。



ブルーベリーの苗の植え付けでは、突然の雹により、全滅する結果となり、管理体制を考え直す必要が出てきた。



しかし、その体験は、ワイルドストロベリー の育成に活かされており、平成 25 年 3 月 19 日現在、生育は順調で、「循環型植栽」の実現に向け期待を寄せている。



(事業期間:平成 24 年 8 月~平成 25 年 3 月)

